

See Different



R.project



日本のポテンシャルを発揮する大きなチャレンジをしながらも、
それぞれの業界のリーダーを目指せるような
比較的ニッチな分野において事業を展開しています。



See Different

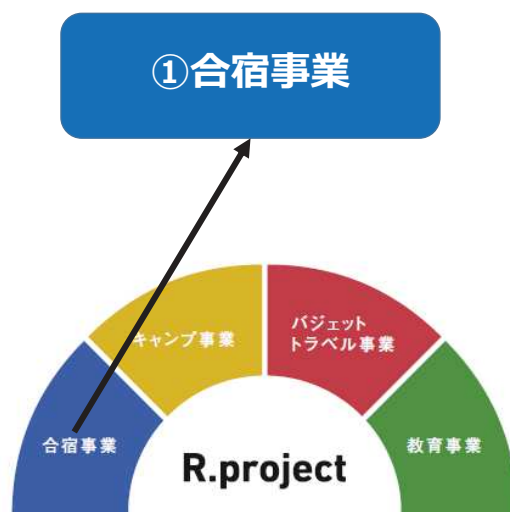


R.project

固定概念にとらわれず
日本が本来持つポテンシャルを発揮する

2006年11月創業





● 起業の背景 (2006年)

都市部と地方のギャップが無視できないものになっていた。



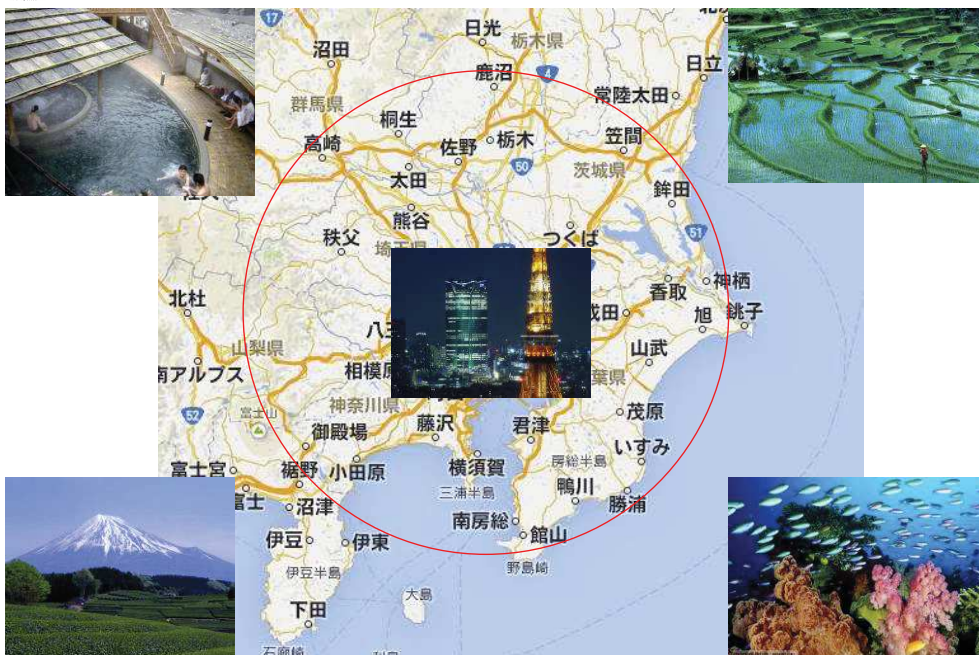
VS



● 北海道ニセコ町



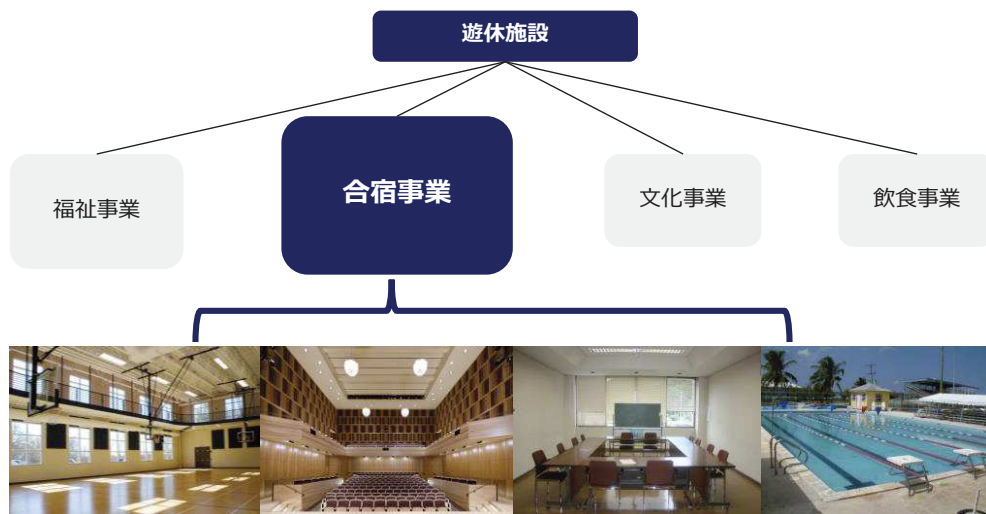
 都心から2時間以内にある豊かな自然




 地方の八コモノ活用



 合宿ビジネスでハコモノ活用



 合宿のマーケット規模

全国の小学校～大学生の数	1800万人
	×
年間の合宿数	5泊
	×
民間の宿泊施設の割合	70%
	×
宿泊施設の平均単価 (1泊3食)	6500円

＝ 4000億円市場

 既存の合宿所の状況

80年代に建てられた民宿が中心

- ①後継者不足
- ②施設の老朽化



 参入チャンス



×

需要は思ったよりも大きい

×



＝

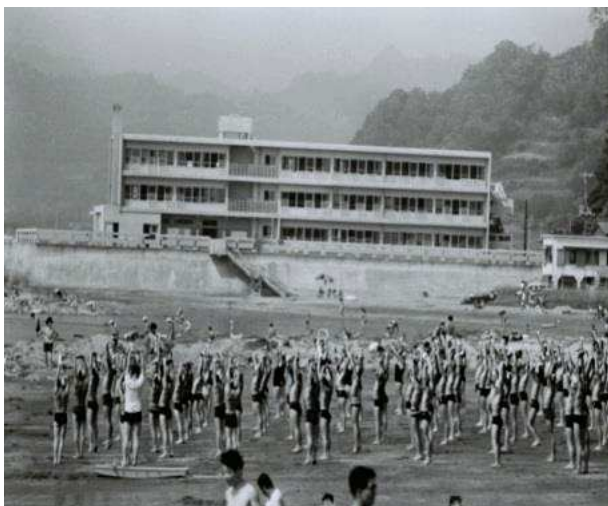
社会的意義と
ビジネスチャンスが共存する

合宿所運営の実績



サンセットブリーズ保田 ~臨海学校再生プロジェクト~

昭和40年代 旧千代田区保田臨海学園



2007年
サンセットブリーズ保田オープン



合宿所運営の実績



千葉県昭和の森ユースホステル+キャンプ場の運営



 合宿所運営の実績



東京農工大学館山荘の運営



 合宿所運営の実績



アルビンスポーツパーク（千葉県長柄町の複合スポーツ合宿所の運営）

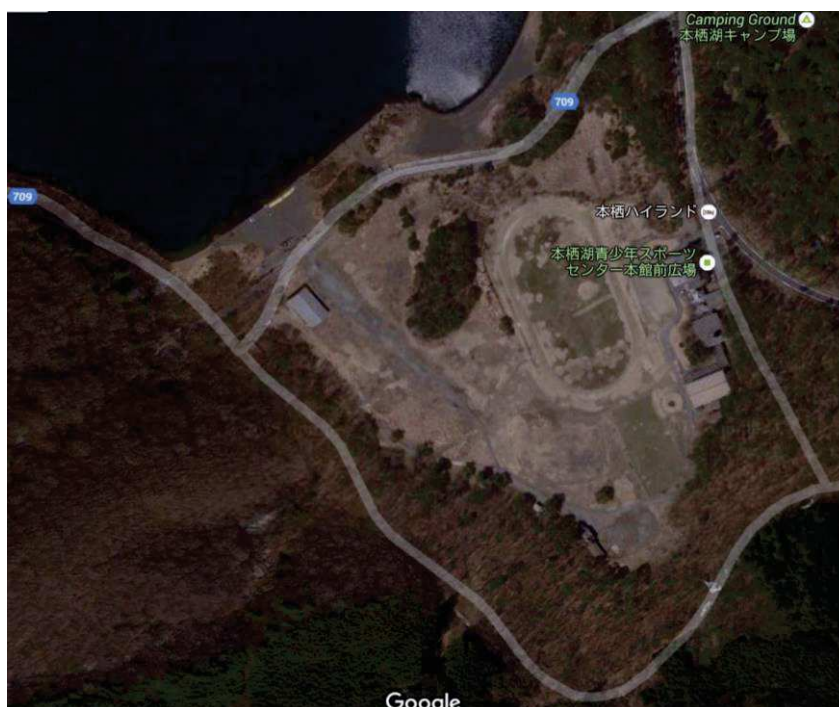


以前は神田女学園の保養施設。
その後、中国サッカー・スーパーリーグ（中国超級聯賽、国内リーグ1部に相当）に所属するサッカークラブ、大連阿爾濱足球俱樂部が日本での冬季トレーニング用に購入した施設をR.projectが賃貸借契約で運営。
日本最大級の合宿施設として生まれ変わる。

公式サイズサッカーグラウンド2面、
練習用サッカーグラウンド1面
フットサルコート6面、大型体育館、
客室定員290名



本栖湖スポーツセンター
Before After



合宿事業における富士五湖エリアの魅力



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	4.3	5.1	8.7	14.9	18.9	21.6	25.5	26.6	16.8	16.8	12.3	7.4
平均気温	-1.6	-0.8	2.6	8.3	12.9	16.4	20.3	21.1	11.4	11.4	6.1	1
最低気温	5.2	-6.2	-2.7	2.3	7.5	12.2	16.5	17	6.9	6.9	0.7	-4.4

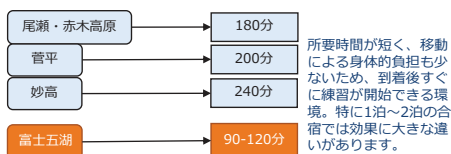
東京に比べ、夏の気温は5℃~10℃低く、熱中症リスクが少ない。
 菅平に比べ、春の気温は5℃~10℃高く、春合宿も呼び込める。

東京 年平均気温：16.3℃ 年降水量：1528.8mm 統計期間：1981~2010

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	9.9	10.4	13.3	18.8	22.8	25.5	29.4	31.1	27.2	21.8	16.9	12.4
平均気温(°C)	6.1	6.5	9.4	14.6	18.9	22.1	25.8	27.4	23.8	18.5	13.3	8.7
最低気温(°C)	2.5	2.9	5.6	10.7	15.4	19.1	23.0	24.5	21.1	15.4	9.9	5.1

菅平 年平均気温：6.4℃ 年降水量：1219.2mm 統計期間：1981~2010

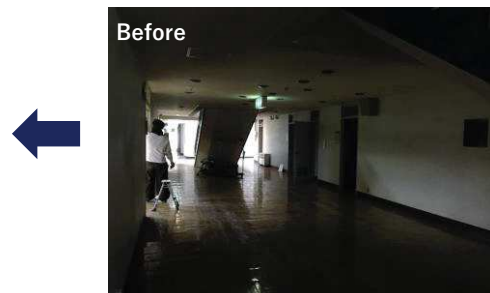
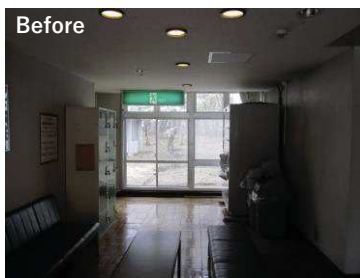
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	-1.6	-1.0	2.9	10.7	16.4	19.7	23.3	24.6	19.7	13.7	8.0	1.9
平均気温(°C)	-6.2	-5.8	-2.1	4.9	10.4	14.6	18.5	19.5	15.1	8.5	2.8	-2.9
最低気温(°C)	-12.8	-12.7	-8.1	-1.1	4.3	9.7	14.4	15.2	11.2	3.7	-2.5	-8.8



『都心からもっとも近い高原合宿地』

23









SHIRAHAMA
FLORAL HALL

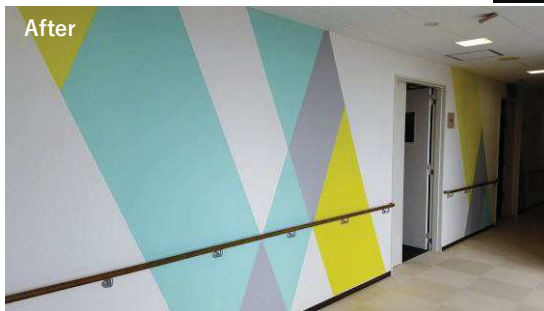
白浜フローラルホール

リノベーション前写真

公共音楽ホール+福祉センター







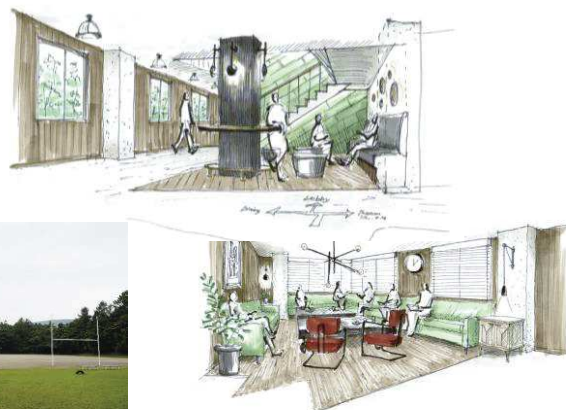




山梨県山中湖村。長年合宿事業を営んできた清風荘ANEXさんから運営を委託され、2017年2月より運営。宿泊棟・テニスコート27面・体育館2つ・研修室2つなどの施設がある。



筑波大学 山中湖（仮）



施設概要

本館：82人(現状より32名増える)
 別棟：10～15人
 通常定員：90人
 セミナー室 A：90人
 セミナー室 B：45人
 グラウンド：約9,000m²
 食堂：60人



上郷森の家(神奈川県横浜市)

横浜市営の宿(200人規模)を市の予算でリニューアル
 年間16000泊の教育旅行をオフシーズンに受け入れ。

オープン：2019年9月

工事期間：2019年1月～2019年8月

雇用：正社員8名、アルバイト20名程度



睦沢合宿所(千葉県睦沢町)

総合運動公園はすでに指定管理グループとして運営開始。
旧みずさわ小学校を150人規模の宿にリノベーション。

オープン: 2019年7月

工事期間: 2019年3月～2019年6月

雇用: 正社員4名、アルバイト10名程度



みずさわ小学校での新たな取組

→コンセプトは「DIYドミトリー」

民間版少年自然の家のイメージ

今までの公共の自然の家



良い点：
 ・値段が安い
 （DIYの要素が多い代わりに）

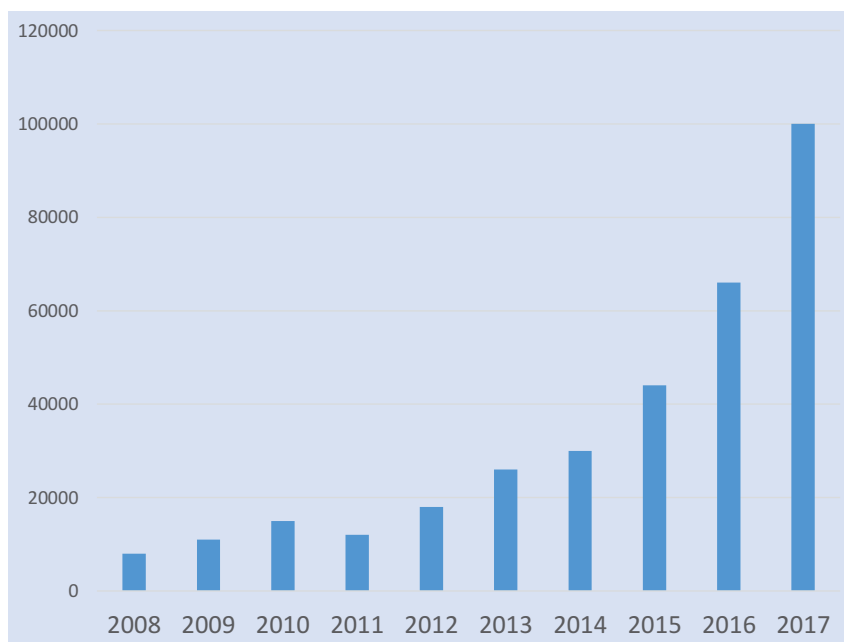
悪い点：
 ・直前にしか予約できない
 ・硬直的なルールが多い



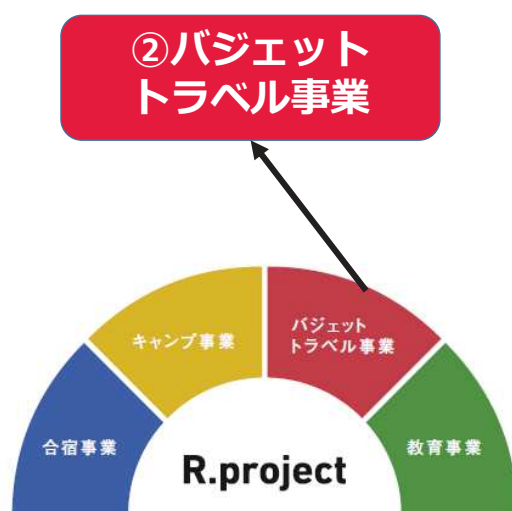
● 利用風景 各種合宿（スポーツ、文化系、研修）



● 利用風景 各種イベント



今後は全国の総合運動公園や
大学キャンパスなどを対象に展開予定



● バジェットトラベル事業目指すこと

江戸時代に日本橋が地方と江戸を結ぶ拠点であったように、
地方と東京の架け橋となり、
日本橋や日本各地の
「ローカルな魅力」
を伝えていく

● IRORI Nihonbashi Hostel and Kitchen


IRORI
HOSTEL & KITCHEN

Before

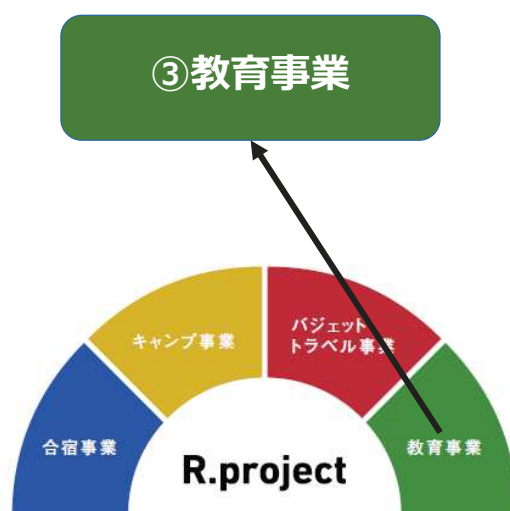
After

 Train Hostel 北斗星



 Shibamata FU-TEN Bed and Local





R.Projectの次の挑戦

固定観念にとらわれない教育事業へのチャレンジ



The Montessori School of Tokyo 子会社化

概要



都内のビルと駐車場を改装したコンパクトな校舎。



子供でも「お仕事」の時間



外にも好きなときに出る



先生はファシリテーター
教えるよりも見守る



整理整頓
自由と責任の関係を学ぶ



Sensorial activity = 感觸を
伴う活動



時には個で、時にはチームで学ぶ



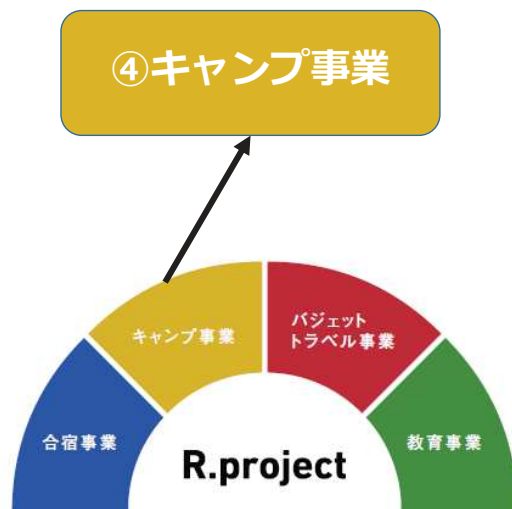
入試制度や指導要領の改革に伴い、オルタナティブ教育や国際教育に対する関心が高まってきている。





Dormitory





R.projectが運営するキャンプ場



東京から1時間で森の中へ 千葉市・昭和の森フォレストビレッジ
 富士山が目の中！山中湖畔に位置する 山中湖村Lake Lodge YAMANAKA
 富士五湖の中でも透明度No.1の美しさ本栖湖にあるSUMIKA CAMP FIELD

ファミリーでもグループでもカップルでもお楽しみいただけるようサイトの種類も豊富。
 手ぶらでキャンプができるよう各種レンタル品や常設テントもご用意しております。

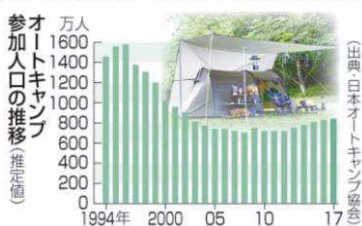


事業機会： 地方の大型公園が活用できるようになっている



マーケット： 初心者層を中心に、マーケットの底辺が拡大

キャンプ人気が再燃=手ぶら、冬場も、楽しみ多様化



キャンプ業界の傾向

- ・ オートキャンプは5年連続で増加中。
- ・ 初心者層や外国人も増え始めている。
- ・ マイカー以外の手軽なフリーサイト利用はバブル期比較でも増えているのではないか？（統計無し）
- ・ SNS写真投稿の普及、キャンプグッズのファッション化、野外フェスの増加、モノ消費からコト消費の転換など、需要が長期的に伸びる見込み。

キャンパーの傾向



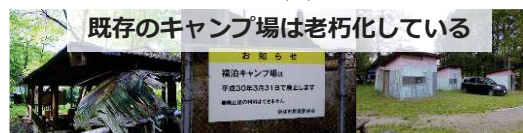
競争の状況： 民間は個人経営が多く、公共は縮小気味

80年代に建てられたキャンプ場が中心

- ①後継者不足
- ②施設の老朽化
- ③公共キャンプ場の閉鎖（民営化）



×
需要は根強く、拡大気味



＝ **キャンプ場ビジネスには
大きなポテンシャルがある**

今後のキャンプ業界



産業が成熟し、テクノロジーが発展すればするほど、自然の中でクリエイティビティを
 発揮することの価値は上がる。
 →キャンプは今後ますますニーズが上がると予想します。



新会社を設立



62.8%



:



SPACEKEY

37.2%



株式会社スペースキー



代表取締役社長 佐藤 祐輔
 <プロフィール> 2009年株式会社船井総合研究所入社 2011年株式会社スペースキー 代表取締役社長に就任

資本金800万円

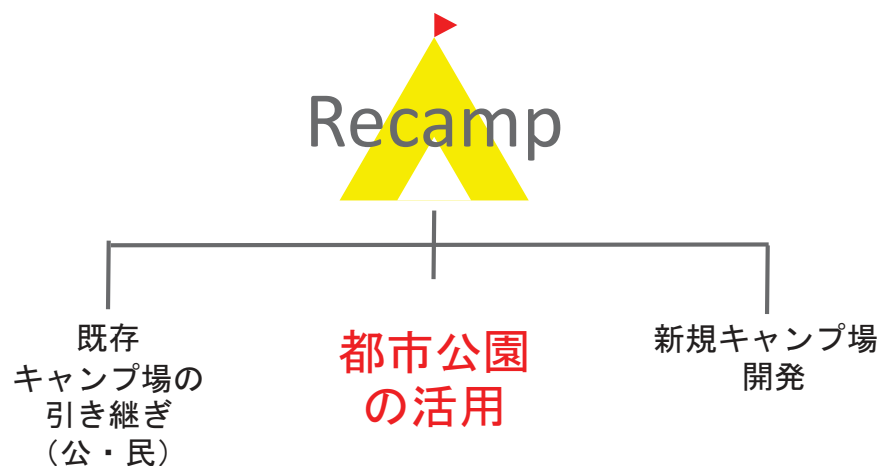
2007年1月創立

事業内容：ポータル・メディア・アプリ・リユース・地域活性・制作／開発・その他



**日本最大のキャンプ場予約サイト
 R.ProjectとはSUMIKA運営強化で深い連携**

キャンプ事業の事業機会





固定概念にとらわれず
日本が本来持つポテンシャルを発揮

